2026 年度 卒業時アンケート結果（全学部計）

＜アンケート概要＞

目　的	追手門学院大学の教育・学生支援について、卒業生の回答を基に本学の教育改善や学生支援をより充実させていくこと。
対　象	2026 年 9 月卒業生
実施期間	2026 年 9 月 25 日～10 月 9 日
実施方法	オンラインでの回答
回 収 率	55.1%（回答者：38 人 / 対象者：69 人）

＜設問＞

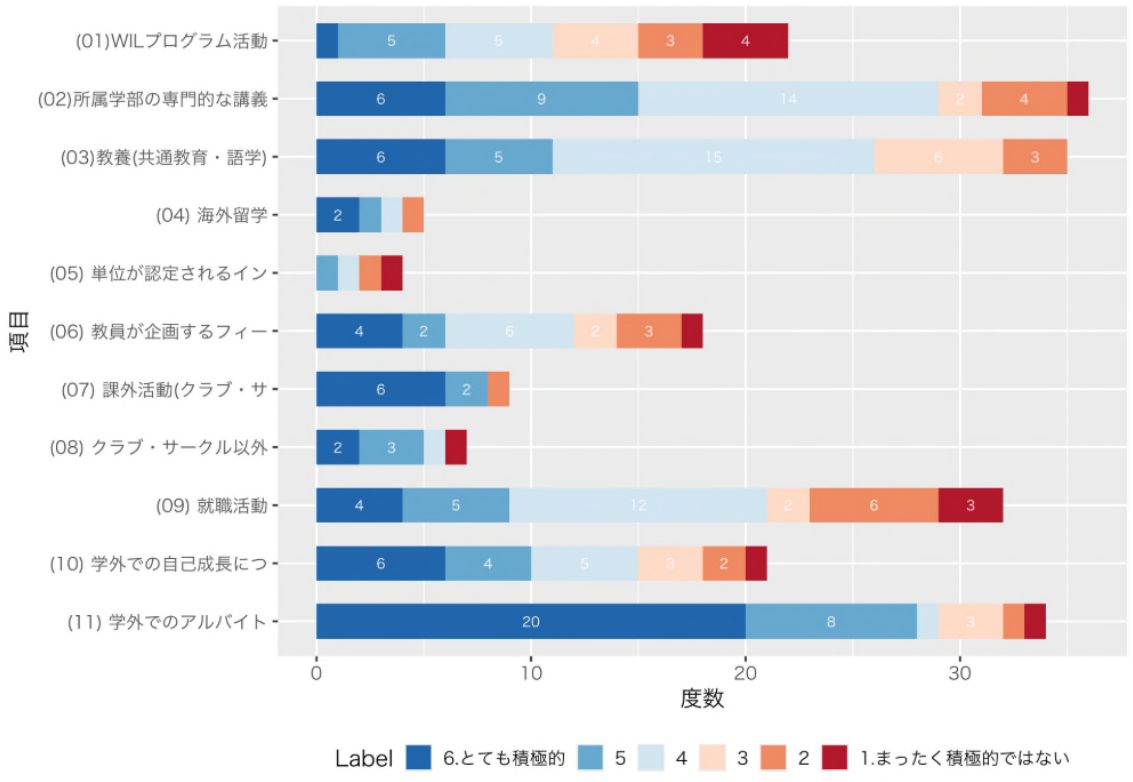
設問番号	項目	質問文
設問 1-1	学業・課外活動等への積極性	以下にあげた項目について、あなたはどの程度積極的に取り組んだと思いますか。
設問 1-2	大学の施設・制度等に対する評価	以下にあげた本学の施設・制度等について、どの程度充実していると思いましたか。
設問 1-3	大学の学生支援・サービスに対する評価	以下にあげた本学の学生支援･サービスについて、どの程度充実していると思いましたか。
設問 2	大学の養成する人材像に対する到達度。	本学での 4 年間の大学生活を通して、以下にあげた各項目(力)について、あなたはどの程度身についたと思いますか。
設問 3	教育理念の理解度	あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊･社会有為」の意味について理解していますか。
設問 4	入学時点と比較したディプロマポリシーの到達度(学部別)	○○学部では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として以下のものを教育方針として掲げています。あなたは入学時点と比較してどの程度身についたと思いますか。
設問 5	大学生活に対する満足度	追手門学院大学の学生生活を振り返り、どの程度満足していますか。

＜集計結果＞

設問 1-1. 以下にあげた項目について、あなたはどの程度積極的に取り組んだと思いますか。

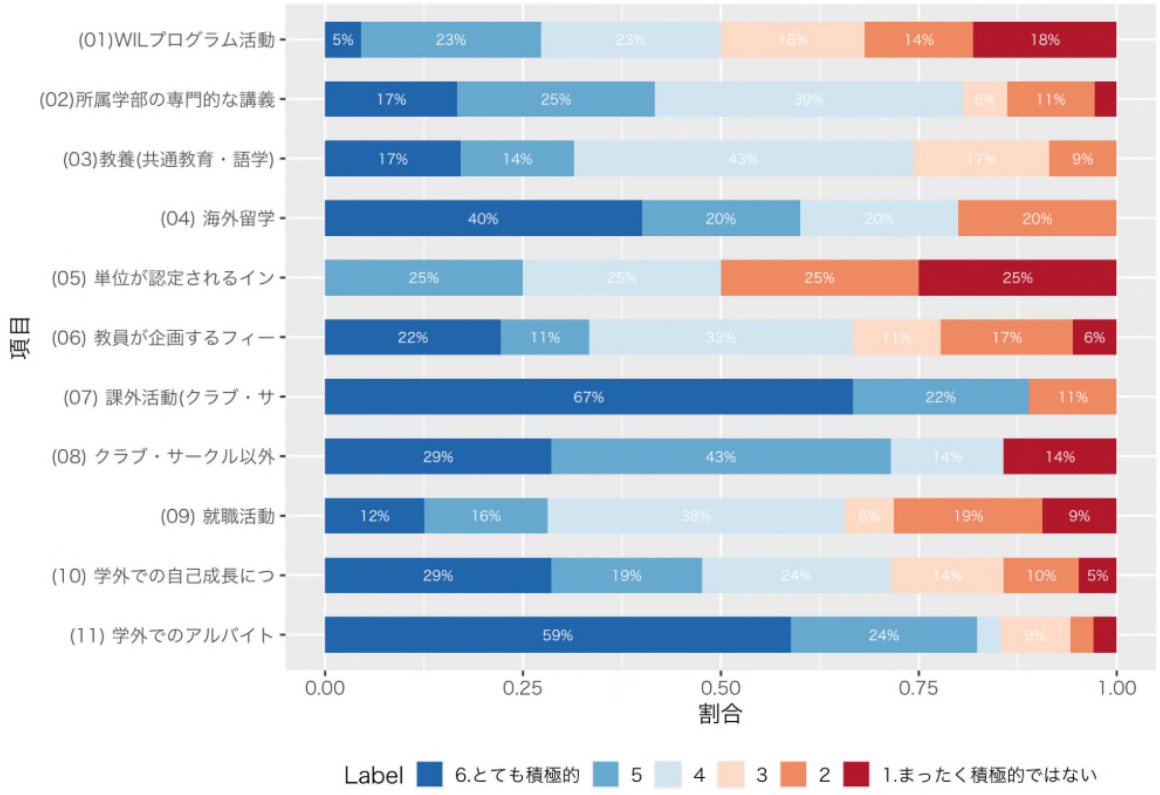
項目	6.とても積極的	5	4	3	2	1.まったく積極的ではない	経験なし
(01)WILプログラム活動	1	5	5	4	3	4	14
(02)所属学部の専門的な講義・演習・実習・ゼミなどの科目	6	9	14	2	4	1	0
(03)教養(共通教育・語学)の講義科目	6	5	15	6	3	0	1
(04) 海外留学	2	1	1	0	1	0	31
(05) 単位が認定されるインターンシップ	0	1	1	0	1	1	32
(06) 教員が企画するフィールド・ワークなど	4	2	6	2	3	1	18
(07) 課外活動(クラブ・サークル)	6	2	0	0	1	0	27
(08) クラブ・サークル以外の課外活動(追風、先輩プログラム、キャンドルナイト、情報SA、E-COスタッフ、オープンキャンパススタッフなど)	2	3	1	0	0	1	29
(09) 就職活動	4	5	12	2	6	3	4
(10) 学外での自己成長につながる活動(資格取得、ボランティアなど)	6	4	5	3	2	1	15
(11) 学外でのアルバイト	20	8	1	3	1	1	2

【度数分布】



【比率】

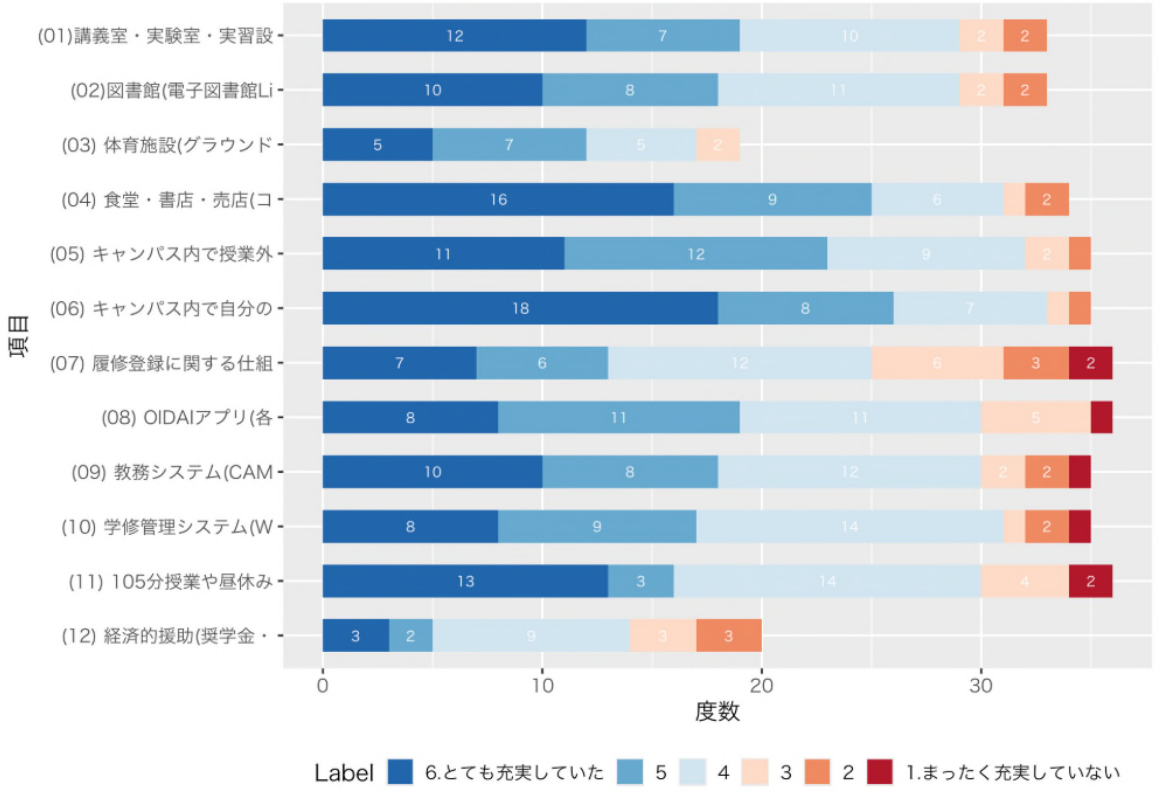
※経験ありの者の中での比率



設問 1-2. 以下にあげた本学の施設・制度等について、どの程度充実していると思いましたか。

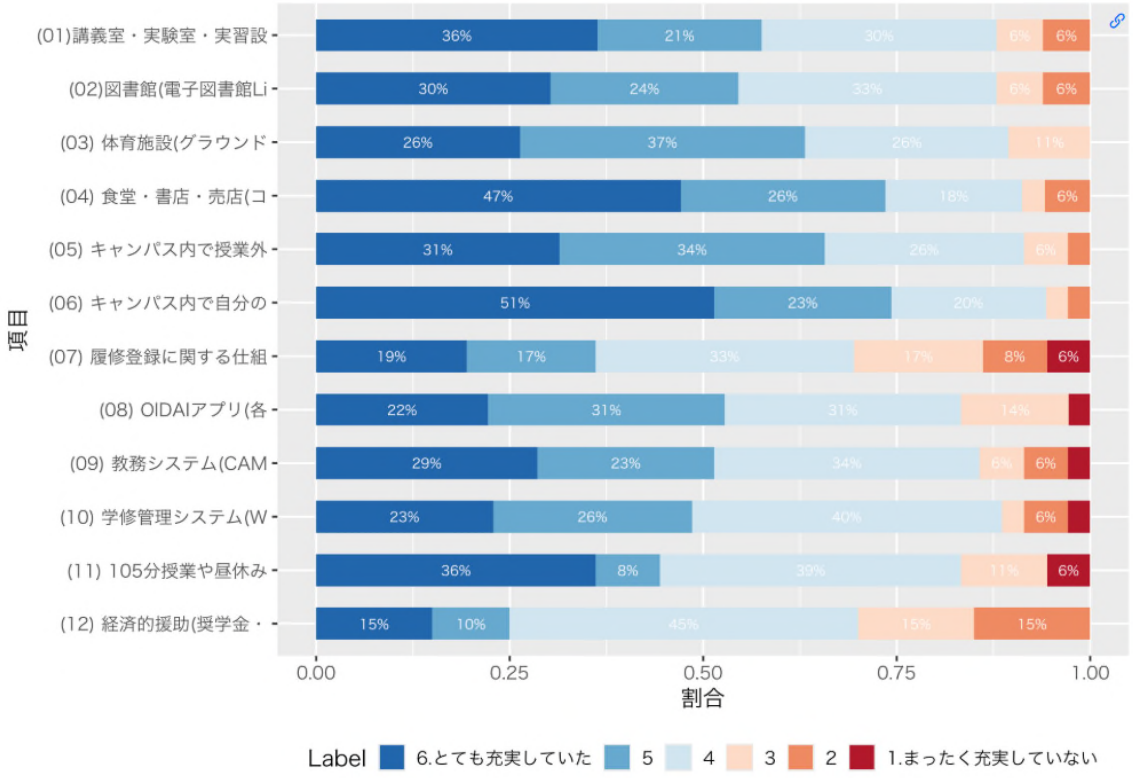
項目	6.とても充実していた	5	4	3	2	1.まったく充実していない	経験なし
(01)講義室・実験室・実習設備	12	7	10	2	2	0	3
(02)図書館(電子図書館LibrariE、KinoDen、ﾃﾞｨｽｶﾊﾞﾘｰﾌﾟﾛﾑﾅｰﾄﾞ含む)	10	8	11	2	2	0	3
(03) 体育施設(グラウンド・体育館・トレーニングルームなど)	5	7	5	2	0	0	17
(04) 食堂・書店・売店(コンビニ)・自動販売機	16	9	6	1	2	0	2
(05) キャンパス内で授業外の時間を過ごす場所	11	12	9	2	1	0	1
(06) キャンパス内で自分のPCを使って作業をしたり授業を受ける環境	18	8	7	1	1	0	1
(07) 履修登録に関する仕組み(履修のしやすさ、履修関連の情報)	7	6	12	6	3	2	0
(08) OIDAIアプリ(各種情報配信、OIサポを含む)	8	11	11	5	0	1	0
(09) 教務システム(CAMPUSSQUARE)	10	8	12	2	2	1	1
(10) 学修管理システム(WebClass・KnowledgeDeliver・Canvas)	8	9	14	1	2	1	1
(11) 105分授業や昼休みなどの時間割	13	3	14	4	0	2	0
(12) 経済的援助(奨学金・奨励金・授業料免除等)制度	3	2	9	3	3	0	16

【度数分布】



【比率】

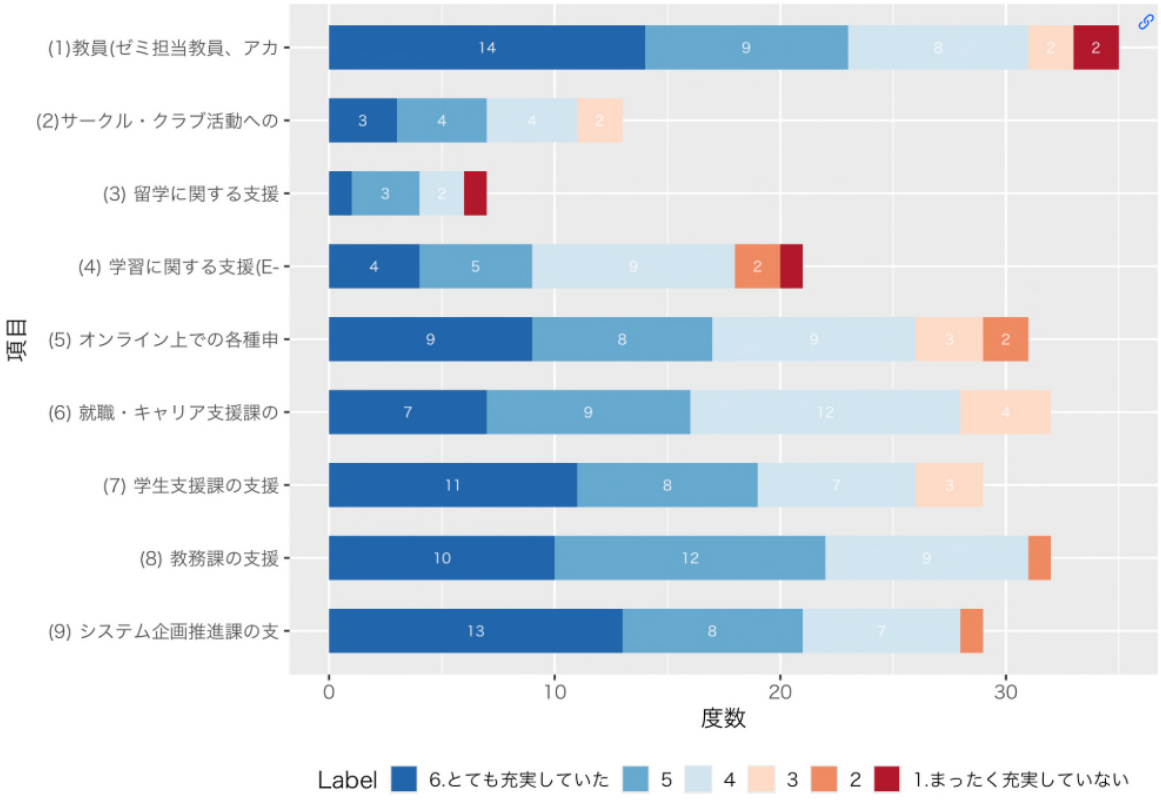
※経験ありの者の中での比率



設問 1-3. 以下にあげた本学の学生支援･サービスについて、どの程度充実していると思いましたか。

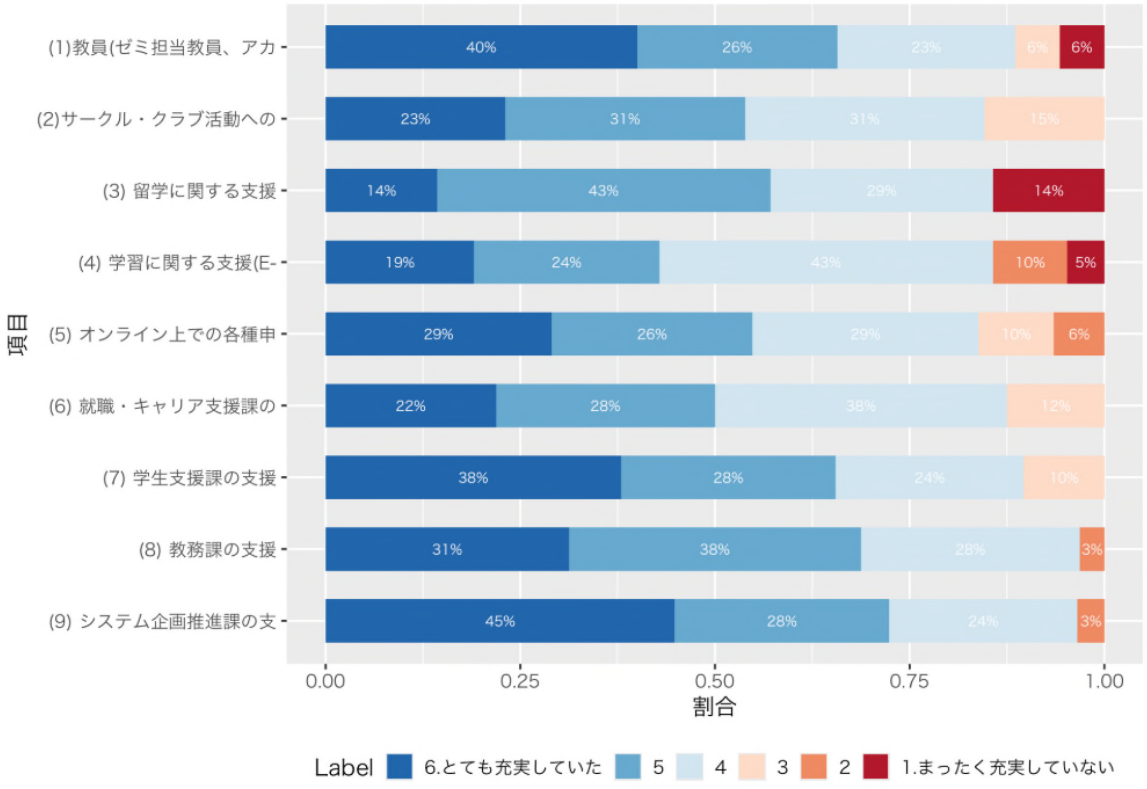
項目	6.とても充実していた	5	4	3	2	1.まったく充実していない	経験なし
(1)教員(ゼミ担当教員、アカデミック･アドバイザー)の助言･支援	14	9	8	2	0	2	1
(2)サークル･クラブ活動への支援	3	4	4	2	0	0	23
(3) 留学に関する支援	1	3	2	0	0	1	29
(4) 学習に関する支援(E-CO、ライティング･ヘルプデスク、教職支援室、学習支援センターなど)	4	5	9	0	2	1	15
(5) オンライン上での各種申請手続きなどの仕組み	9	8	9	3	2	0	5
(6) 就職･キャリア支援課の支援	7	9	12	4	0	0	4
(7) 学生支援課の支援	11	8	7	3	0	0	7
(8) 教務課の支援	10	12	9	0	1	0	4
(9) システム企画推進課の支援(PCサポートなど)	13	8	7	0	1	0	7

【度数分布】



【比率】

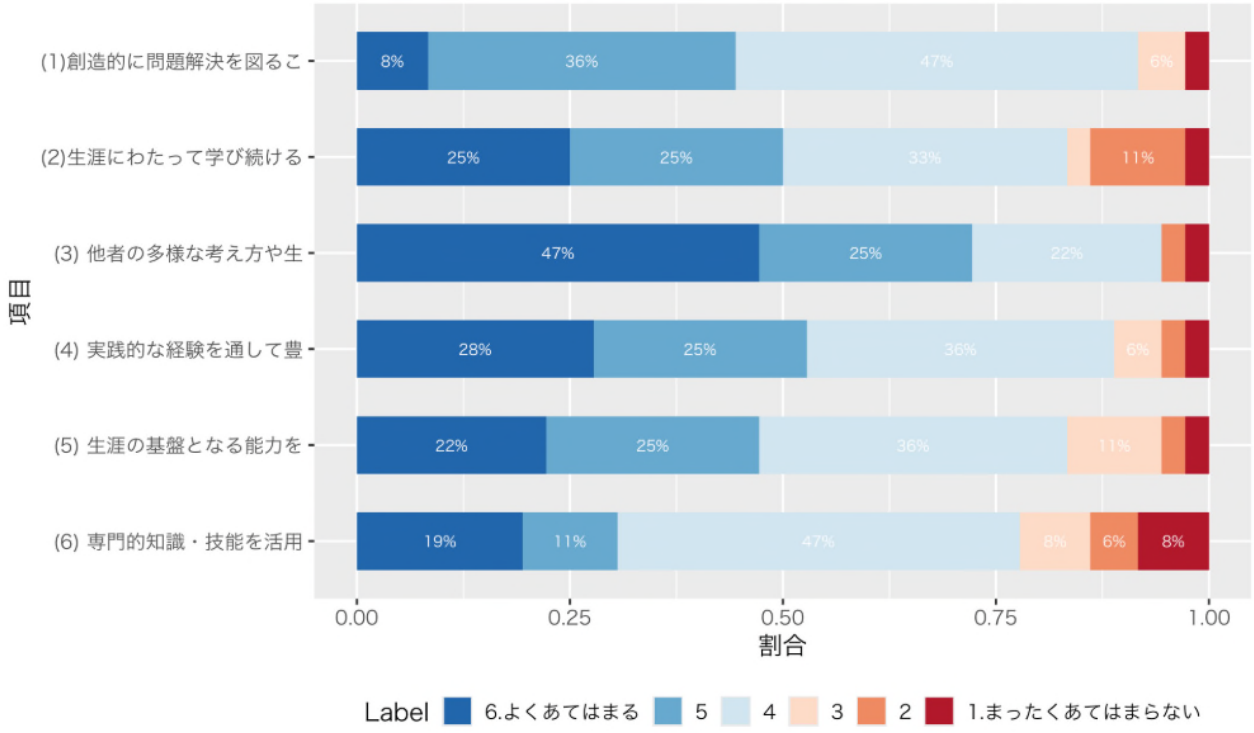
※経験ありの者の中での比率



設問 2. 本学での 4 年間の大学生活を通して、以下にあげた各項目について、あなたはどの程度身についたと思いますか。

項目	6.よくあてはまる	5	4	3	2	1.まったくあてはまらない
(1)創造的に問題解決を図ることができる	3	13	17	2	0	1
(2)生涯にわたって学び続ける強い意志をもっている	9	9	12	1	4	1
(3) 他者の多様な考え方や生き方を尊重できる	17	9	8	0	1	1
(4) 実践的な経験を通して豊かな人間関係を形成できる	10	9	13	2	1	1
(5) 生涯の基盤となる能力を持っている	8	9	13	4	1	1
(6) 専門的知識・技能を活用して思考・行動できる	7	4	17	3	2	3

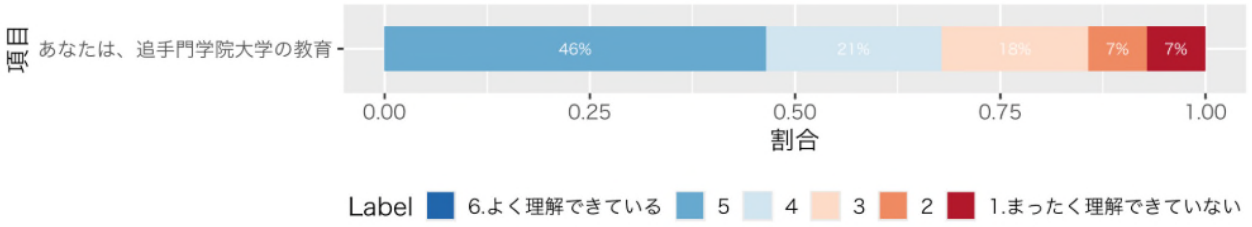
【比率】



設問 3．あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊･社会有為」の意味について理解していますか。

項目	6.よく理解できている	5	4	3	2	1.まったく理解できていない	無回答
あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊･社会有為」の意味について理解していますか。以下にあげた選択肢の中から当てはまる数字１つ選択してください。	0	13	6	5	2	2	8

【比率】



設問 4. ○○学部では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として以下のものを教育方針として掲げています。あなたは入学時点と比較してどの程度身についたと思いますか。

＜文学部人文学科＞

該当者が 1 名いるが，DP 達成度への回答はなかった

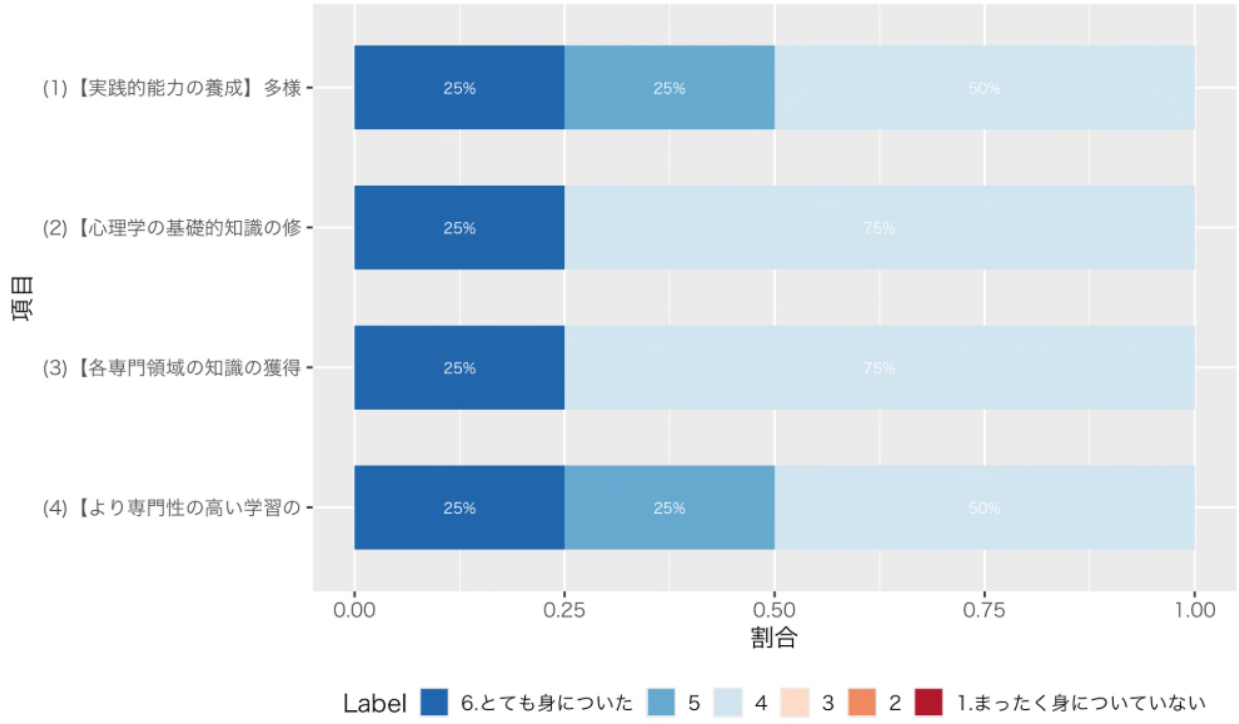
＜国際学部国際学科＞

該当者が 4 名いるが，DP 達成度への回答はなかった

＜心理学部心理学科＞

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身についていない
(1)【実践的能力の養成】多様な考え方を受容し、心理学を学ぶことによって培われた「思考力」、「想像力」、「分析力」等を用いて、社会や個人の抱えるさまざまな課題に自律的に取り組み、それらに対して客観的かつ論理的に対処する能力を涵養する。	1	1	2	0	0	0
(2)【心理学の基礎的知識の修得】心理学を学ぶために必要な基礎的知識ならびに研究法を習得することで、客観的な視点から人間の行動や心を考察し、科学的かつ批判的な思考を行うことができる能力を身につける。	1	0	3	0	0	0
(3)【各専門領域の知識の獲得】心理学や情報科学の各専門領域の知識と技術を学ぶことで身につけた、心理学的、情報科学的なものの見方や考え方を実社会に応用し、さまざまな価値観を有する個人や集団と柔軟かつ生産的な関係性を構築するための力を身につける。	1	0	3	0	0	0
(4)【より専門性の高い学習のための基礎能力の養成と近接領域の知識の獲得】心理学と関連性の深い他領域の知識を積極的に学ぶとともに、より専門性の高い学習を行うための基礎となる知識や語学力を身につける。	1	1	2	0	0	0

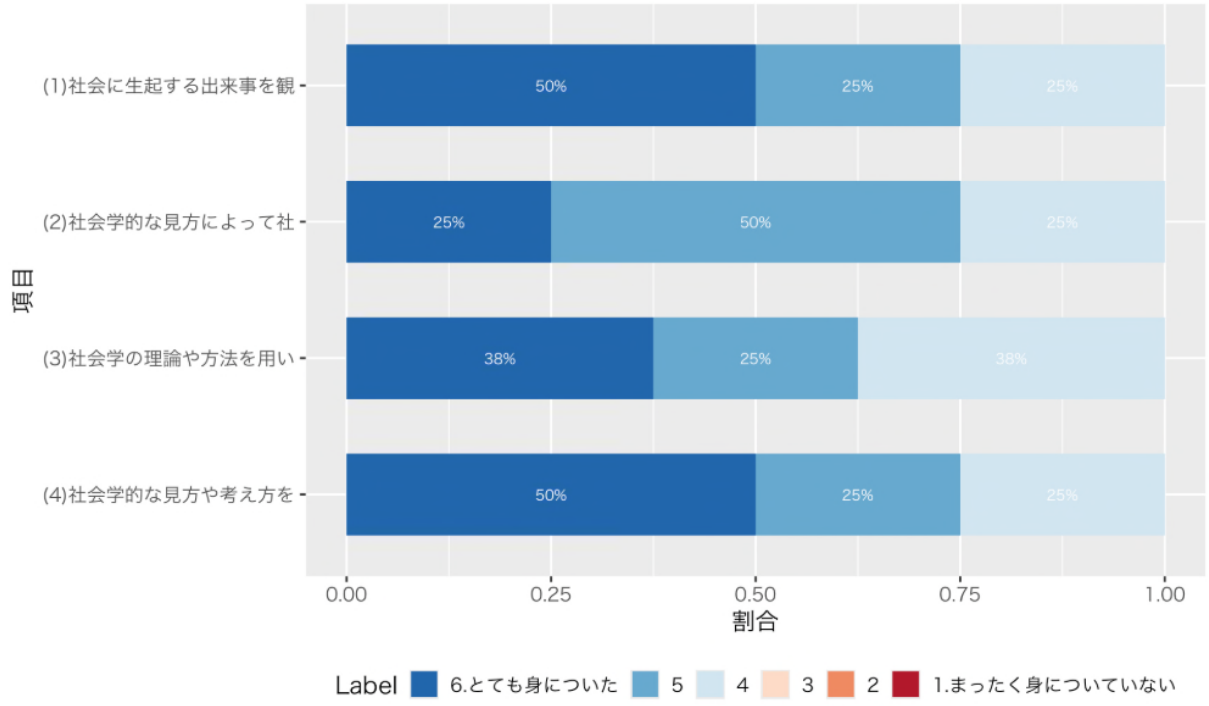
【比率】



＜社会学部社会学科＞

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身についていない
(1)社会に生起する出来事を観察してそこから課題を見出し、社会学の知見を生かして考察して自分なりの解決策や企画を提示することができる。	4	2	2	0	0	0
(2)社会学的な見方によって社会全般および身近な組織や地域を理解し、それを踏まえて自分の役割を考えることができる。	2	4	2	0	0	0
(3)社会学の理論や方法を用いて具体的な社会事象や人間関係を把握し、そこから自分の考えなどを言語表現、身体表現を通じて的確に伝え、よりよい社会関係を構築することができる。	3	2	3	0	0	0
(4)社会学的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。	4	2	2	0	0	0

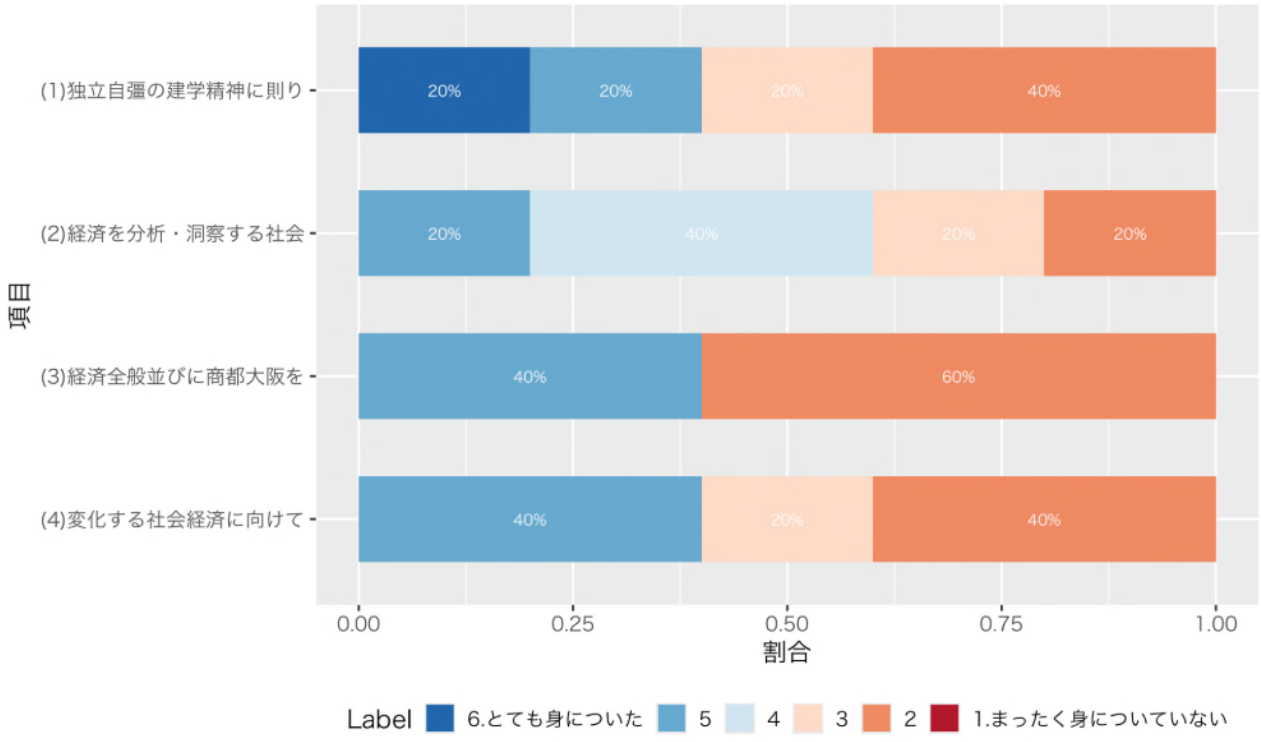
【比率】



＜経済学部経済学科＞

項目	6.とても身についた 5 4 3 2	1.まったく身についていない
(1)独立自彊の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに邁進できる	1 1 0 1 2	0
(2)経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる	0 1 2 1 1	0
(3)経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる	0 2 0 0 3	0
(4)変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる	0 2 0 1 2	0

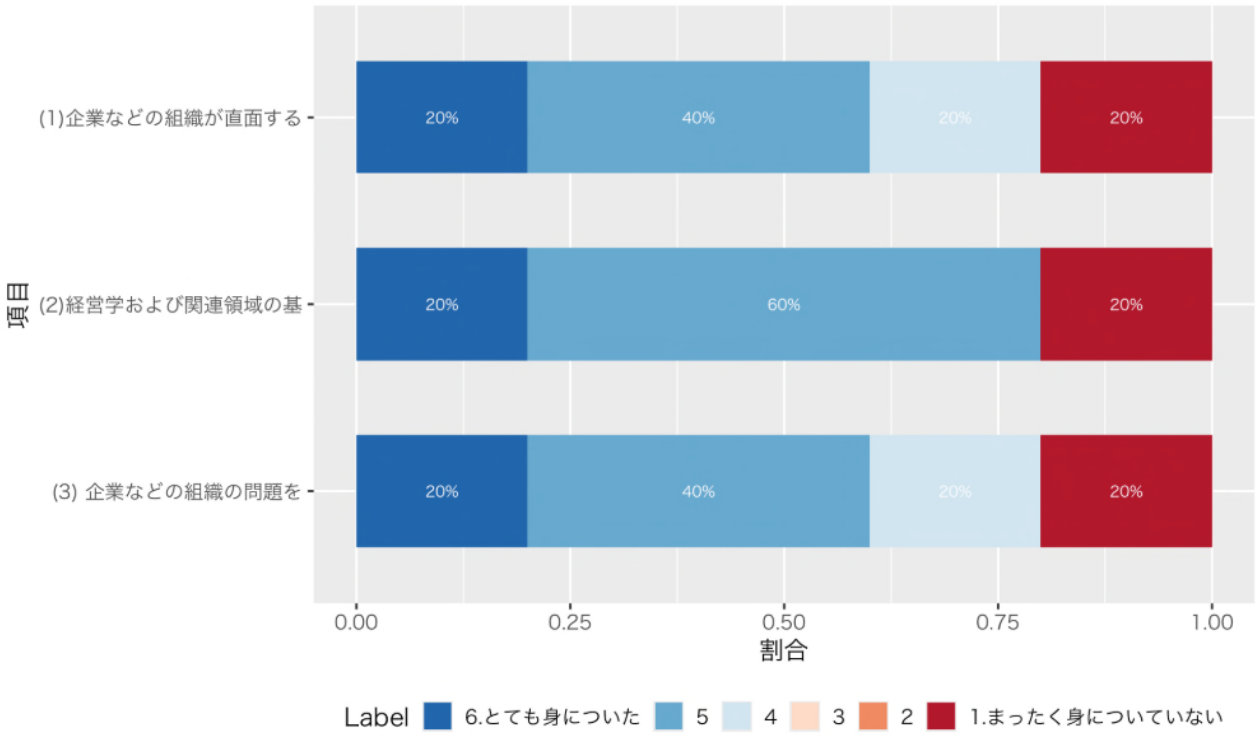
【比率】



＜経営学部経営学科＞

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身についていない
(1)企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場面で活かすための力を身につける	1	2	1	0	0	1
(2)経営学および関連領域の基幹理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける	1	3	0	0	0	1
(3) 企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識や理論を学び、組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける	1	2	1	0	0	1

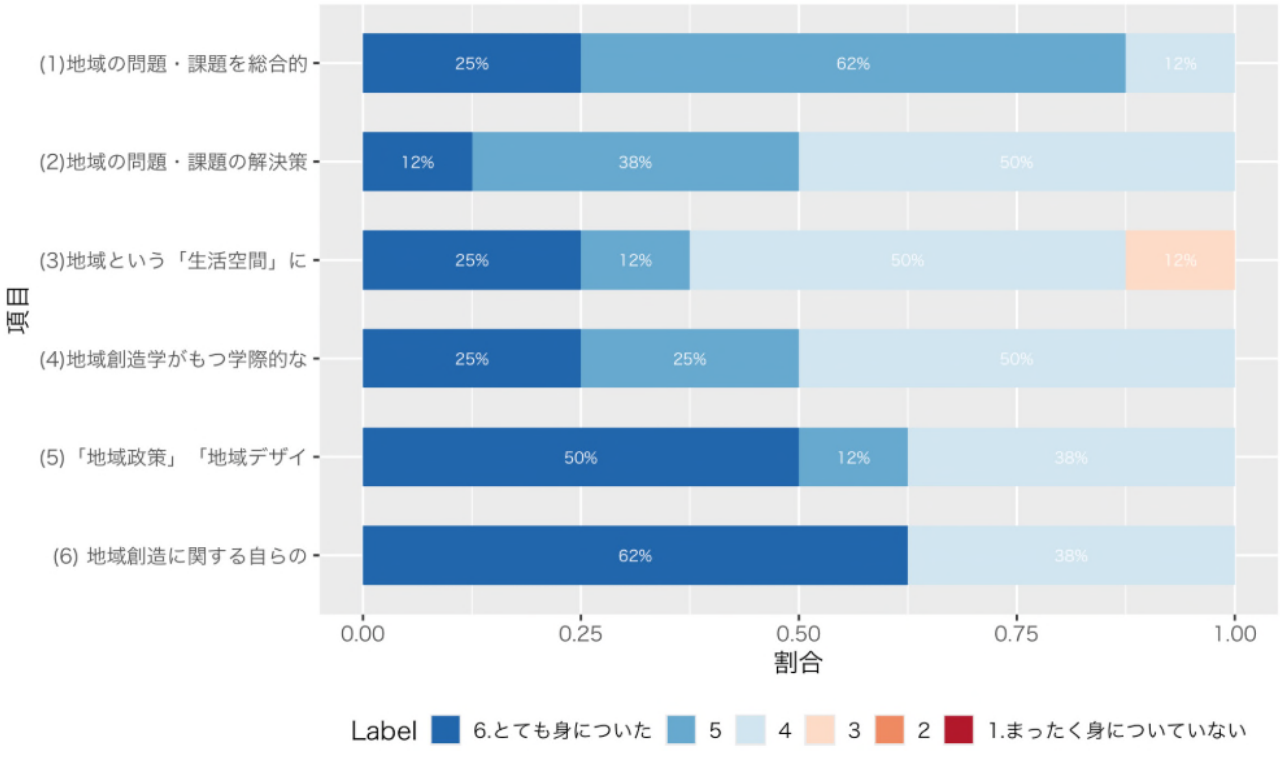
【比率】



＜地域創造学部地域創造学科＞

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身についていない
(1)地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる	2	5	1	0	0	0
(2)地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる	1	3	4	0	0	0
(3)地域という「生活空間」に関係する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識と技能を修得している	2	1	4	1	0	0
(4)地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている	2	2	4	0	0	0
(5)「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している	4	1	3	0	0	0
(6) 地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる	5	0	3	0	0	0

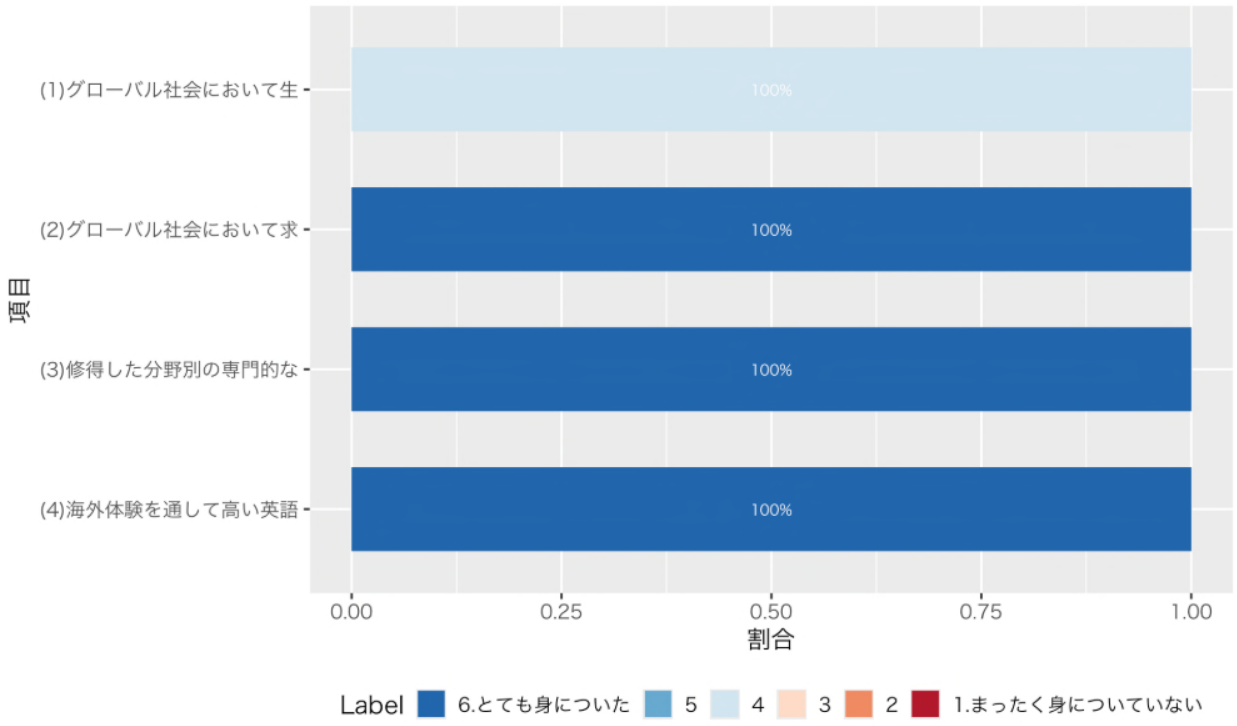
【比率】



＜国際教養学部国際教養学科＞

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身についていない
(1)グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことができる。	0	0	1	0	0	0
(2)グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。	1	0	0	0	0	0
(3)修得した分野別の専門的な知識と技能をグローバル社会において応用的かつ実践的に用いることができる。	1	0	0	0	0	0
(4)海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを応用的に用いることができる。加えて国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を眺めることができる。	1	0	0	0	0	0

【比率】



設問 5. 追手門学院大学の学生生活を振り返り、どの程度満足していますか。

項目	6.満足	5	4	3	2	1.不満足
(1)学業面の満足度	8	11	12	3	1	1
(2)課外活動の満足度	8	5	14	6	3	0
(3) 施設・制度・対応の満足度	13	11	12	0	0	0
(4)進路の満足度	11	11	9	3	2	0
(5)交友関係の満足度	12	7	10	2	5	0
(6)(以上を踏まえた)学生生活の総合的な満足度	12	12	8	2	2	0

【比率】

